



若 草

静岡市立清水第七中学校
学 校 だ よ り 9 月 号
令 和 7 年 9 月 1 日 発 行

学校教育目標 「自ら学び 思いやりとたくましさをもって やりぬく子」(小中共通)
重 点 目 標 「楽しい学校 ～主体性と思いやりの育成～」

みんなで“ちょこボラ” ～ちょこっとボランティアで地域貢献～

校 長 海野義晃

長かった夏休みが終わり、新たに学校生活が始まりました。夏休み期間中のお子様の様子はいかがでしたか。毎年迎える夏休みですが、毎年一つずつ年齢を重ねることによって、学年ごとの違う過ごし方になったと思います。

さて、私は7月末に地区保護司会主催の「地域を明るくする運動」の一環として講演をする機会をいただきました。七中の校長として、中学生の頑張りと共に「地域に貢献する七中生」「ちょこボラ」をテーマに話をさせていただきました。内容の一部を紹介させていただきます。



◆きっかけは昨年、地域行事を見に行ったとき

赴任して半年、ようやく地域のことや学校のことになれてきた頃、9月に「草薙龍勢花火」に来賓として参加しました。地域としても力を入れている大きな行事ですので多くの方が来場していました。小学生も参加しており大変賑やかだったのですが、中学生の姿があまり見られませんでした。自転車で行くには厳しい場所なのが原因かなと考えていました。10月には「うどまつり」が行われました。出演する吹奏楽部の様子を見に行くことが主な目的でした。様々な出し物がある中で、吹奏楽部の演奏が一番の盛り上がりがあったような気がします。吹奏楽部の友達や保護者、多くの参観者がそこにいました。多くの中学生を見かけましたが、それでも少ないかなと感じました。(私が見たのは地域イベントの一部だけなので、他のイベントには多くの中学生が参加している可能性もあります)

◆中学生は地域の戦力！

長年、中学生を見てきて、中学生は立派な地域の戦力であると思っています。今の時代に地域のお祭りよりも楽しいことがスマホやネットの世界に溢れているので、中学生が興味を持たないのも仕方ないかもしれません。しかし、客としてではなく、運営スタッフ側だったらどうでしょう。重いものを運べる体力がある中学生もいれば、細かいところに気づき進んで動ける中学生もいます。地域の大人だけでは手の足りない仕事にも十分手伝える中学生がたくさんいるのです。運営側のスタッフとして中学生が参加するという地域の発想こそが大切なのではないかと考えています。

◆中学生が参加すると地域が盛り上がる!? 中学生にとってもメリットがある！

吹奏楽部の演奏でわかるように中学生の参加により、地域行事が大きく盛り上がります。イベントだけでなく清掃などの活動も同様です。実際に活動の様子を見てすごく感じました。また、誰かのために働く・貢献するという体験はやった人にしかわからない満足感があります。これまで3年生を中心に、「ちょこボラ」に参加してくれています。清掃、会場準備、裏方スタッフ、司会、受付・・・様々な募集があると思います。参加は強制ではありません。先生たちは、参加を促すことはしますが、それ以上のことはしません。ボランティアとは、自ら進んで社会活動など無償で参加する人(広辞苑より)です。とりあえず、一回参加してみませんか？

これまでの「ちょこボラ」参加の実績

○ミックスマーケットスタッフ(2月)、○草薙神社ボランティア清掃(4, 5月)、○草薙西・東防災フェスタ(7月)、○うどおどり出演・スタッフ(7月)、○地域を明るくする運動啓発グッズ配り(7月)

◆保護者の皆様へお願い

参加する場合には、生徒が応募用紙などに連絡先を記入し、地域主催者が生徒に直接連絡することになります。その際に、携帯電話などの連絡先を伝えることになると思いますので、ご承知おきください。また、連絡先を自宅や保護者携帯にするなども考えられますので、生徒とよく相談してください。

